

【ARP認証】

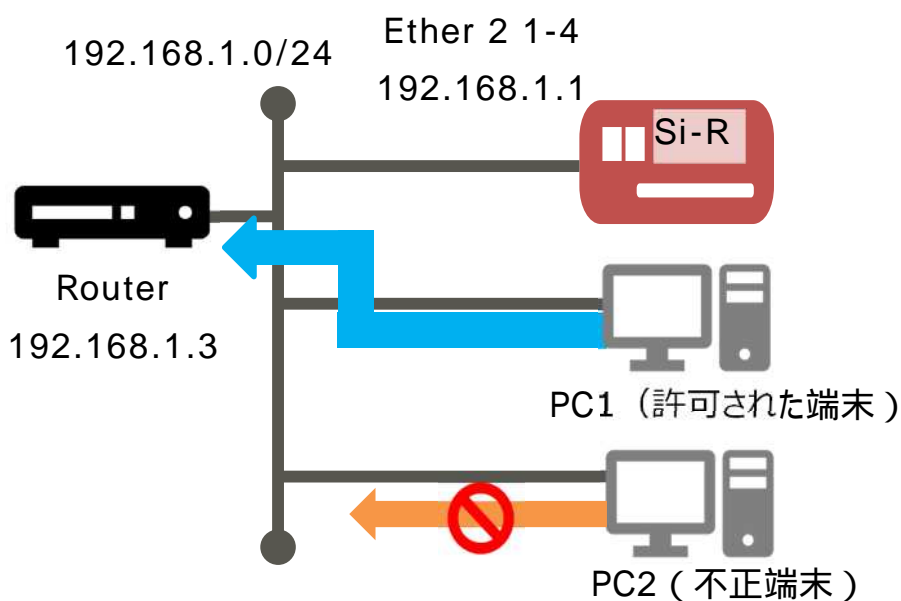
ARP認証機能を使用し、許可された端末（PC1）のみを透過させ、不正端末（PC2）に対してはダミー-MACアドレスを使用したARPフレーム（妨害ARP）を送信し、通信を排除（妨害）する設定例です。

【対象機種と版数】

Si-R Gシリーズ V20.50以降

【設定内容】

- ・ ether 2 1-4をLAN側とします。
- ・ Si-RのLAN側に192.168.1.1/24を割り当てるとします。
- ・ PC1（透過対象）
MACアドレス 00:E0:00:00:00:10



[設定]

以下の設定例を、コピー&ペーストでご利用いただくことができます。

Si-R設定

```
ether 1 1 vlan untag 1
ether 2 1-4 vlan untag 2
vlan 2 arpauth use on
vlan 2 arpauth aaa 0
vlan 2 arpauth obstruction enable 10s
lan 0 ip address 192.168.1.1/24 3
lan 0 ip route 0 default 192.168.1.3 1 1
lan 0 vlan 2
aaa 0 name localAuth
aaa 0 user 0 id 00e000000010
aaa 0 user 0 password abcd
arpauth use on
arpauth password abcd
syslog facility 23
time zone 0900
consoleinfo autologout 8h
telnetinfo autologout 5m
terminal charset SJIS
```

[解説]

Si-R設定解説

ether 1 1 vlan untag 1
ether 1 1 インタフェースにVLAN1を割り当てます。

ether 2 1-4 vlan untag 2
Ether 2 1-4 インタフェースにVLAN2を割り当てます。

vlan 2 arpauth use on
ARP認証機能を使用する設定をします。

vlan 2 arpauth aaa 0
ARP認証機能で使用するAAAグループの設定をします。

・ 0: グループIDです。各グループを示すIDを10進数値の通し番号で指定します。

vlan 2 arpauth obstruction enable 10s
ARP認証機能での通信妨害を行う設定をします。

・ 10s: 10秒間隔で通信妨害を行います。

lan 0 ip address 192.168.1.1/24 3
LAN0側にIPアドレスを設定します。

・ 192.168.1.1/24 : lan0 IPアドレス/マスクです。
・ 3 : ブロードキャストアドレスのタイプです。通常は3で構いません。

lan 0 ip route 0 default 192.168.1.3 1 1
デフォルトルートを設定します。

・ 192.168.1.3 : 端末があるネットワークのゲートウェイです。
・ 1 : metric値です。通常は1のままで構いません。
・ 1 : distance値です。通常は1のままで構いません。

lan 0 vlan 2
VLAN ID とlan 定義番号の関連付けを行います。

aaa 0 name localAuth
グループ名 (任意) を設定します。

aaa 0 user 0 id 00e000000010
認証情報 (ID) を設定します。

・ 00e000000010 : 透過対象のPCのMACアドレスです。

aaa 0 user 0 password abcd
認証情報（パスワード）を設定します。

arpauth use on
装置としてARP認証機能を使用する設定をします。

arpauth password abcd
認証情報（パスワード）を設定します。

syslog facility 23
システムログ情報の出力対象ファシリティの設定をします。通常はこの値で構いません。

time zone 0900
タイムゾーンを設定します。通常はこのままで構いません。

consoleinfo autologout 8h
telnetinfo autologout 5m
シリアルコンソール、TELNETコネクションの入出力がない場合のコネクション切断時間を設定します。

terminal charset SJIS
ターミナルで使用する漢字コードをShift JISコードに設定します。